

(第2号様式)

宜野座第2101号
令和8年 2月17日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立宜野座学校
校長 山田 義二
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和7年5月26日	本校 面会室	評議員3名 職員3名
第2回	令和7年9月26日	本校 面会室	評議員3名 職員6名
第3回	令和8年2月16日	本校 図書館	評議員3名 職員5名

2 学校評議員に求めた事項

宜野座高校らしい、生徒の資質・能力を向上させるための効果的な地域や外部機関との連携のあり方について専門的立場からの意見を求める。

- ①地域に根ざした本校の目指す姿について
- ②学校経営について
- ③学校評価について

3 学校評議員の意見

- (1)授業参観から、生徒が非常に学校生活を楽しんでいる様子が見て取れた。息子も本校を卒業したが、学校の先生方の支え、みらい塾の支えの中で、かなり成長させてもらった。そうした経験も含めて、卒業生の親として、学校の良さを地域に積極的にPRしていきたい。
- (2)授業の様子を見て、各生徒のレベルにあわせた授業設定、学力に応じたクラス設定が行われていると同時に、楽しそうな授業な様子から、そうしたことの延長が学力向上につながっていくのではないかと感じた。
- (3)子供たちが楽しそうに学んでいる。地域の教材や人材の活用を進めてほしい。それにより、生徒が地域に入っていきることにつながり、それにより地域を知ってもらうことにつながり、地域の声や課題を掘り下げて知ってもらうことにつながっていくと思う。
- (4)遅刻が気になる。生徒指導がかつての指導方針と異なり、難しくなっているのは理解できるが、時間の管理の力を含めて社会に出て必要なので、保護者の協力を得ながら頑張してほしい。
- (5)県外からの生徒の受け入れも含めて、地域と連携していけると生徒のためにも良いと思う。宜野座村の可能性も含めて。
- (6)宜野座には中部の学校にはない魅力がある。進路指導対応や支援の手厚さをもっと知ってほしい。受験生の保護者と先輩保護者との交流や情報交換の場があってもよいと思う。
- (7)名護市内の中学校に宜野座高校の生徒募集のポスターがあり、それを見て、内容がよく、生徒増加につながるのでは期待した。
- (8)村営塾所属の生徒の分は把握しているが、その他の生徒の進路状況がわからないので、教育委員会とも情報共有して頂けると助かる。
- (9)生徒会の行事として、子どもたちの意見や考え方を引き出すようにしているので非常によいと思う。学校の魅力化との関連も含めて、さらに推し進めてほしい。教育委員の会議で、志願者増との関連でも話題になった。
- (10)卒業した生徒が卒業後も有志で球技大会などを開催したり等、卒業後もつながっている。つながり合う意識の醸成が学校生活の中で出来ているということだと思う。楽しい学校づくりを今後も進めてほしい。
- (11)職員の「ゆりの時間の確保」を積極的に進めてほしい。定時に帰れるようにしてほしいが…。通勤の問題(高速の渋滞)があるので難しいとは思いますが…。
- (12)コミュニティスクークを積極的に導入してほしい。地域との関係の深さも踏まえて早めに導入した方がよい。

4 学校運営に反映した事項

- (1) 学校評議員会で出た意見などを中学校での学校説明会や体験入学に活かし、入学志願者の増加に繋がった。
- (2) 地域や地域の小学校・中学校とのつながりを深めるための取り組みや連携を工夫することにより、今まで以上に連携・協働体制を拡充することができた。
- (3) 学校の教育活動や地域との連携の取り組みについて、学校長が「地域連携だより」を作成し、発信した。
- (4) 学校評議員の意見を参酌しつつ、生徒指導の基準や許容範囲のあり方に関して検討し、生徒指導提要にもとづく積極的な生徒指導の充実に務めた。

5 課題その他

- (1) 生徒の変容や評価の観点について外部評価しやすい形式の検討が必要
- (2) 勤怠について、生徒の実態と改善指導にむけての取組の検討が必要
- (3) 今後のコミュニティスクール導入への積極的な準備が必要